

## 「過去の大地震 豊田も混乱」

### 市史講座で執筆者たちが講演



豊田市を襲った巨大地震について話す広内教授＝豊田市昭和町の崇化館交流館で

豊田市昭和町の崇化館交流館で十五日、豊田の水環境や過去の地震災害、気象・気候について学ぶ市史講座があり、市民ら六十人ほどが参加した。

六月に刊行された新修豊

田市史を執筆した宮岡邦任

三重大教授、広内大助信州

大教授、大和田道雄愛知教

育大名誉教授が登壇し、約

十年に及ぶ調査や収集デー

タをもとに講演した。

広内教授は豊田市を襲っ

た一九四四年の昭和東南海地震と四五年の三河地震の被害状況を調べるため、地震を体験した人にアンケートやインタビューを実施。「ガラスが割れた」「家が傾いた」といった証言から、気象庁の震度階級に照

らし合わせ、震度や発生時の様子をまとめた。「豊田の被害はそれほど大きくなかったとされ、ほとんど資料が残ってなかったが、調べてみると当時の混乱の様子が出てきた」と、記録を残す重要性を指摘した。

(生津千里)